

平成27年度版小学校書写教科書

小学生の書写

ガイドダンス

書写技能の「運用能力」を育て、
書字を通して「生きる力」を育む



三省堂

『小学生の書写』ガイドンス

もくじ

編集にあたり大切にしたこと

第1・2学年の特色

第3・4学年の特色

第5・6学年の特色

広がる学び、深まる学び

はさみこみリーフレット

・学年別教材一覧

・検討の観点と内容の特色

08

06

04

02

01



【編集にあたり大切にしたこと】

編集方針

1 基礎・基本の重視

硬筆書写・毛筆書写の基礎的・基本的技能を、楽しく確実に習得できるようにしました。

2 思考力・判断力の育成

子どもの気づきを大切にし、考え、判断しながら書く習慣がつくようにしました。

3 日常生活への展開

身につけた書写技能を、他教科の学習や日常生活の中で活用できるようにしました。



構成と特色

1 発達段階にそった構成

子どもの発達を考慮して、低学年・中学年・高学年、それぞれの段階にふさわしい内容と構成を工夫しました。

2 学習の流れとポイントの明示

学びの過程とポイントを的確に捉え、自ら学ぶ力を身につけることができるように工夫して、紙面を構成しました。

3 硬筆学習と毛筆学習の有機的な連携

硬筆・毛筆それぞれの学習を系統的に配置するとともに、硬・毛の学習を相互に生かすことができるように教材を編成しました。

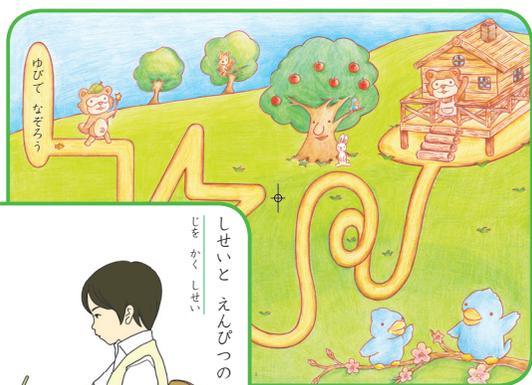


第1・2学年の特色

●硬筆書写の基礎・基本を、楽しく、確実に習得することができます。

「字を書くまで」をていねいに

書字学習のスタートにあたって、手や指の基礎的な動きをしっかりと体得できるようにすることを、特に重視しています。姿勢・執筆については、気をつけたいポイントが明確に捉えられるように工夫して示しました。



学びの手順をわかりやすく

「書く↓わかる↓書いて確かめる↓振り返る」という学びの手順をわかりやすく示しました。同じ学習過程を繰り返すことにより、子どもたちが学び方を理解し、主体的に学習する力を身につけるようにしています。

1 ひらがなの かきかた

2 「せんを かこう」

3 「はらひい」

すつと はらって かこう

つ	し



えんぴつで かいて みよう
てんを つなごう

しんぶん、せんご、かみり

えんぴつの もちかた

① おなかと、せなかには、くうひびく

② あしを、べたべた

③ せなかを、びん

えんぴつを、かいて、みよう

① 鉛筆を、かいて、みよう

② 鉛筆を、かいて、みよう

③ 鉛筆を、かいて、みよう



おひさまが出る

魚 形

時間

黄色い鳥

春 用 魚

鳥 黄 時 用 形
色 間 春 魚

② ゆびで なぞろう

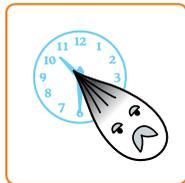
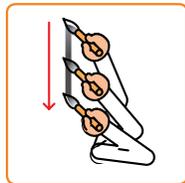
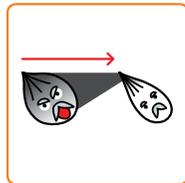
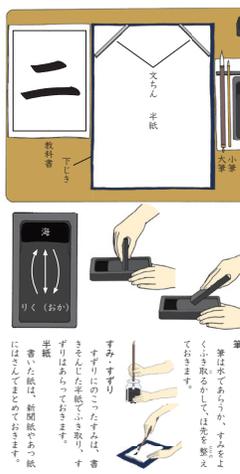
すうつと はらう。

はらう ところは、くぐらして。

④ すうつと、はらいましたか

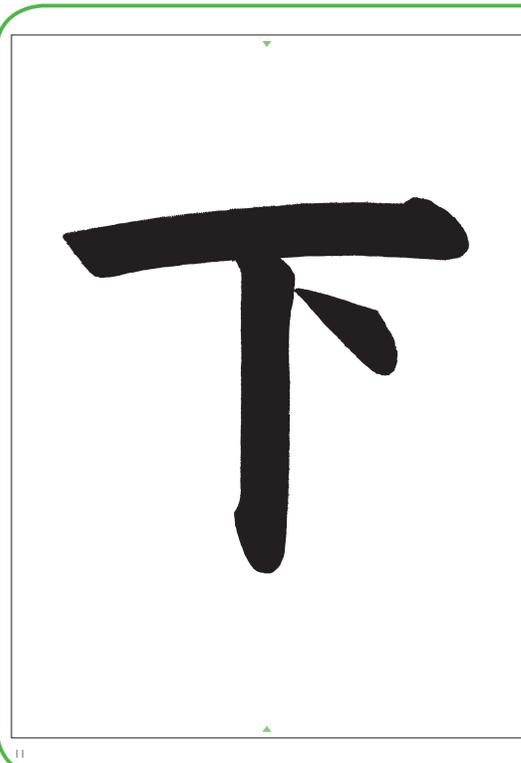
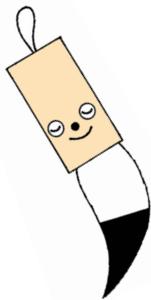
書き込み欄の活用

学習の流れにそって書き込める欄を設け、学習の確かな定着を図りました。



！アイコンの活用

基礎的・基本的なことから端的に表現したアイコンを作成し、さまざまな学習場面で確認できるようにしました。



第5・6学年の特色

● 考え、判断しながら書くことで、
場面に応じた書写技能の「運用能力」を育むことができます。

考え、判断しながら書く

学習活動を提示するにあたり、単に書くというのではなく、適切な書き方を考えて書くということを重視しました。「考える→硬筆で書く→毛筆で書く→振り返る」という学習過程の中で、学びのポイントが確実に身につくよう、教材を構成しています。

多彩な書字場面

日常生活の中でのさまざまな書字場面を取り上げて教材化しました。それぞれの場面で、それまでに学んできた書写の技能を運用することを通して、「生きる力」としての書写能力を確かなものとしていきます。



① 漢字とひらがなの大きさ

● 二 全体を読みやすく書くこと

② 考えよう

次のアとイは、どちらが読みやすいでしょう。

ア 明るく前向きな心

イ 明るく前向きな心

書いて確かめよう

漢字とひらがなの大きさに気をつけて、アの言葉を書いてみましょう。

③ 毛筆で確かめよう

④ 確かめよう

漢字とひらがなの大きさに気をつけて書きましたか。

10

エ 下の例を参考に自分のノートを書き直そう

植物の発芽

1 発芽の条件

実験(1) 水が必要か調べる

- ① 水でしめらせただっしめんを入れたコップと、かわいたままのだっしめんを入れたコップを用意する。
- ② それぞれのコップにインゲンマメの種子をまき、発芽するか調べる。

実験(2) 空気が必要か調べる

- ① 水でしめらせただっしめんを入れた2つのコップを用意する。
- ② それぞれのコップにインゲンマメの種子をまく。
- ③ 1つはそのままにし、もう1つはさらに水を加えて種子を水の中にしずめ、発芽するか調べる。

実験(3) 温度との関係を調べる

- ① 水でしめらせただっしめんを入れた2つのコップを用意する。
- ② それぞれのコップにインゲンマメの種子をまく。
- ③ 1つはれいぞうこに入れ、もう1つには箱をかぶせ、発芽するか調べる。

(条件)

知る

5

●学習を生かそう

漢字とひらがなの大きさに気をつけて書こう

ア 次の文を書きなさい。

夏休みが待ち遠しい。

イ 次の文を書きなさい。

中庭のヒオトトギスでは、いろいろな生き物を観察できる。

24ページで書いておいた漢字が、ここに登場しています。



●学習を生かそう

はがきには小筆で宛て名を書いてみましょう。

郵便はがき
3114230

水戸市大原町
三二七一六
海原武男様

富山市青田町二一九
松木由加利

9892734

目	区	府	九	五	一
番	町	県	十	六	二
地	村	郡	都	七	三
号	丁	市	道	八	四

字形にも気をつけてみましょう。

資料 書写学習のついで

1 資料は、教科書や参考書、辞書、インターネットなどから集めます。集めた資料は、整理して示します。

2 整理した資料は、学習のついでに活用します。

3 整理した資料は、学習のついでに活用します。

4 整理した資料は、学習のついでに活用します。

5 整理した資料は、学習のついでに活用します。

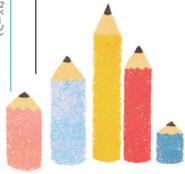
6 整理した資料は、学習のついでに活用します。

7 整理した資料は、学習のついでに活用します。

8 整理した資料は、学習のついでに活用します。

9 整理した資料は、学習のついでに活用します。

10 整理した資料は、学習のついでに活用します。



① 理解を深める資料

6年の巻末には「資料」を設定し、書写の技能を整理して示しました。学習の中で適宜参照することで、理解をより深めることができます。

広がる学び、深まる学び

他教科との連携

他教科の学習や学校行事等を取り上げ、その中での書字場面を設定することで、書写で学習したことをさまざまな形で活用できるようにしています。

ひろげよう はっけんした ことを つたえよう

自分ではつけんしたいろいろなことを書いて、友だちにしようかいしましょう。

① 文しょうを かんがえて、えんびつて 下書きを しましょう。

② 読みやすいように、ていねいに 書いて、友だちに しようかいしましょう。

気を つけよう

これまでに 学んだ こと

- ・ 字を 書く しせい
- ・ えんびつ の もち方
- ・ ひらがなや かたかな、かん字の 書き方

音楽の時間に「かえるのがっしょう」をれんしゅうしました。三つのグループに分かれて、おいかけっこをするように歌いました。声がかさなって、とても楽しくなりました。



音楽の時間 分かれる歌う声 楽しい

		し	が	プ
こ	花	た	さ	ール
こ	は	い	の	のう
さ	ぼ	た	の	ら
い	く	の	で	の
て	の	せ	よ	見
い	せ	よ	り	に
、	り	高	行	ま
は	い	き	わ	り
つ	ま			
ぱ				

統合的な表現

グループや学級で取り組む活動を設定しました。みんなで役割を分担しながら、それぞれの書写技能を統合し、共同で一つの作品を仕上げていきます。

四 学習のまとめ

グループで本を手作りしよう

みんなが書いた原こうをまとめて、本を作りましょう。一年間の学習のまとめとして、身につけた力を生かして取り組みましょう。

① テーマを決める
どんなテーマにするか、アイデアをカードにまわしましょう。

② 分たんを表にまどめる
それぞれの分たんを表にしまどめましょう。

③ レイアウトを考えよう
読みやすいレイアウトを考えよう。



メモを取る

- ・ 漢字とかなの大きさ
- ・ 行の中心と行間

（原こう）
（原こう）
（原こう）

本の内容について
・ 修学旅行……おそめの場所(池い)池
・ グループ…………特長や共通点
【原こう】
・ 本のしょうかへおそめのさつをしょうかい
・ 工場見学報告……おそなことか気分たふ

表の作成

- ・ 用紙に応じた書き方

（構成、編集）

原 著	かみゆ	玉恵美
本 文	全頁	読みかたでいむい書く
題 字	山西	名筆で読みやす書く
表 紙	山田	筆記員と工夫する
目 次	清水	構成がわかるり工夫する
編集後記	全員	1人 30字まで

レイアウトをする

- ・ 文字の大きさ
- ・ 行の中心と行間
- ・ 用紙に応じた書き方

本の題名	あすじ	作者名
読みやすいレイアウトをしよう		

④ 下書きをしよう

レイアウトにしたがって下書きをしよう

下書きする

- ・ 文字の並び
- ・ 行の中心と行間
- ・ 文字の大きさ

⑤ 原こうを書いて本にまどめよう

レイアウトにたつて、読みやすいように、ていねいに書きましょう。それが書いたものをまとめておきましょう。本ができたら、教室にコーナーを持つて、みんなて読み合いましょう。

おそめの理由

わかれれいれいおそめの理由

あすじ

作 者

こころあすす

サポート・ネットワーク・プログラム(SNP)

・毛筆原寸大資料
・指導用CD-ROM

学習
指導書

児童用
教材

・書写練習帳

辞書

サポート
書籍

『ことばの
学び』

ウェブ
サイト

編集委員

中渚正堯
小池勲
小西憲一
小林比出代
谷口邦彦
新田直美
松本仁志
三浦和尙
株式会社三省堂

兵庫教育大学名誉教授
長野県飯田市立川路小学校
香川大学
信州大学
安田女子大学
安田学園安田小学校
広島大学
愛媛大学



<http://tb.sanseido.co.jp>



株式会社 三省堂

〒101-8371 東京都千代田区三崎町2丁目22番14号
☎03-3230-9411(編集)・9556(営業)

大阪支社 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3 ☎06-6341-2177
名古屋支社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-25-43 瑞穂ビル4F ☎052-252-9211
九州支社 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1 ☎092-531-1531
札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西15-2-1 ラスコム15ビル3F ☎011-616-8722